

「大阪湾岸地域における結核菌広域感染拡大株の探索と迅速検出法の開発」
の研究内容について

【研究課題名】大阪湾岸地域における結核菌広域感染拡大株の探索と迅速検出法の開発

【研究責任者】

神戸市健康科学研究所 岩本 朋忠

大阪健康安全基盤研究所（森ノ宮センター）田丸 亜貴

大阪健康安全基盤研究所（天王寺センター）山本 香織

兵庫県立健康科学研究所 荻田 堅一

【研究実施施設】神戸市健康科学研究所、大阪健康安全基盤研究所 森ノ宮センター、大阪健康安全基盤研究所 天王寺センター、兵庫県立健康科学研究所

【研究期間】2021年11月22日 - 2026年3月31日まで

【研究目的】

大阪湾岸地域（大阪府、兵庫県）で高頻度に検出される遺伝型別の結核菌株に関して、より詳細に菌の特徴を調べ、これらが過去数年に起きた結核感染伝播を反映しているのか否かを明らかにする。また、これらの菌株を迅速簡便に探知できる検出法を開発する。

【研究内容】

地方自治体では、国が定める「結核に関する特定感染症予防指針」に基づき、地域内で発生した結核患者から得られる結核菌を収集し、どのような菌がどの程度広がっているのかの把握に努めています。神戸市健康科学研究所と大阪健康安全基盤研究所（森ノ宮センター、天王寺センター）、兵庫県立健康科学研究所には、神戸市、大阪市、大阪府（大阪市を除く）、兵庫県（神戸市を除く）で得られた結核菌が保存されており、各施設において、詳細な細菌解析データが蓄積されています。

「大阪湾岸地域における結核菌広域感染拡大株の探索と迅速検出法の開発」という研究では、これら4施設が保有するデータ（匿名化済み）を比較し、さらに、次世代シーケンス技術という新たな遺伝子解析技術を用いることで、大阪湾岸地域に広く感染が広がっている結核菌の探索を行います。また、そのような菌を効率的に検出する方法の開発も行います。これにより、大阪湾岸地域での感染拡大が心配される菌の発生探知および蔓延防止に役立つことが出来ます。

【研究の対象】

○対象となる方

2000年（平成12年）以降に結核を発症され、診断時に分離された結核菌が本研究を実施する4施設のいずれかに搬入・保存された方。

【研究方法】

本研究を実施する4施設で保存されている結核菌の遺伝型別データを比較し、大阪湾岸地域で多く見つかри、なおかつ、公衆衛生的に重要であると考えられる菌株を選定します。選定した菌株について、次世代シーケンス技術などの最新技術を用いて詳細な遺伝子解析を行い、大阪湾岸地域に広く感染が広がっている結核菌の特徴を把握することで、今後の発生探知および蔓延防止に役立てます。なお、本調査では、研究対象となる方への不利益はございません。

【利用する情報】

調査対象となる方の年齢・性別・診療情報（発症日、試料採取日、菌培養陽性日、臨床症状、海外渡航歴など）ならびに分離菌の遺伝型別情報。

【個人情報の取り扱い】

お名前、生年月日など個人を特定できる情報は、外に出ることが無いように厳重に管理します。また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文など）の際には、個人を特定できない形で使用します。

【問合せ先】

神戸市健康科学研究所 岩本朋忠 TEL：078-302-6243

大阪健康安全基盤研究所（森ノ宮センター）田丸亜貴 TEL：06-6972-1321

大阪健康安全基盤研究所（天王寺センター）山本香織 TEL：06-6771-3148

兵庫県立健康科学研究所 荻田堅一 TEL：079-440-9090